

除草剤  
DCMU水和剤

サンケイ **ダイロン**

農林水産省登録 第24636号

性状：類白色水和性粉末 45 μm以下

毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）

危険物：非該当

有効年限：5年

包装：100g×50, 300g×20

有効成分：DCMU（化管法第1種）・・・・・・80.0%

除草剤分類 **5**

**特長**

- 雑草発生前と雑草生育期の両方に効果を示す薬剤です。
- 雑草発生前は土壌表面に処理層を形成し、長期間雑草の発生を抑えます。
- 雑草生育期処理は茎葉あるいは根から吸収され、光合成を阻害することにより防除効果を発揮します。
- 一年生のイネ科雑草や広葉雑草に対し高い効果を発揮します。

**適用雑草名及び使用方法**

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用薬量	10アール 当り 希釈水量	本剤の 使用回数	使用方法	DCMUを 含む農薬の 総使用回数
だいず	—	一年生雑草	は種直後～発芽前	70～ 100g	100ℓ	1回	全面土壌散布	2回以内 (出芽前は1回以内、 生育期は1回以内)
あずき	—	一年生雑草	は種直後～発芽前	70～ 100g	100ℓ	1回	全面土壌散布	2回以内 (出芽前は1回以内、 生育期は1回以内)
らっかせい	—	一年生雑草	は種直後	60～ 100g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
ばれいしょ	—	一年生雑草	植付後～萌芽前	70～ 100g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
さとうきび	—	一年生雑草	植付後萌芽前又は 収穫後萌芽前	100～ 150g	70～ 100ℓ	1回	全面土壌散布	2回以内 (萌芽前は1回以内、 生育期は1回以内)
		多年生広葉雑草	雑草生育期 ただし、 収穫90日前まで		100ℓ		雑草茎葉散布	
飼料用 さとうきび	—	一年生雑草	植付後萌芽前又は 収穫後萌芽前	100～ 150g	70～ 100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
		多年生広葉雑草	雑草生育期 ただし、 収穫90日前まで		100ℓ		雑草茎葉散布	
食用亜麻	—	一年生雑草	生育期 (8葉展開期以降) (雑草発生揃期) ただし、 収穫60日前まで	60g	100ℓ	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
小麦 (秋播)	—	一年生雑草	は種直後	60～ 70g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
りんご	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
なし	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
もも	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用時期	10アール 当り 使用薬量	10アール 当り 希釈水量	本剤の 使用回数	使用方法	DCMUを 含む農薬の 総使用回数
かき	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
かんきつ	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
ぶどう	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
うめ	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
りんご	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
なし	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
もも	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
かき	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
かんきつ	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
ぶどう	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
うめ	—	一年生雑草	雑草生育期	200～ 400g	100ℓ	1回	ノニオン系 展着剤を加えて 雑草茎葉散布	1回
あま (単作)	—	一年生雑草	子葉展開期	60～ 80g	100ℓ	1回	全面土壌散布	2回以内
うこん	—	一年生雑草	植付後萌芽前 (雑草発生始期)	100～ 200g	100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	2回以内 (萌芽前は1回以内、 生育期は1回以内)
		生育期(畦間処理:雑 草発生始期) ただし、 収穫75日前まで						
桑	—	一年生雑草	雑草発生前	100～ 200g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回
樹木等	公園、庭園、堤 とう、駐車場、 道路、運動場、 宅地、のり面 等	一年生雑草	雑草発生前	60～ 200g	100ℓ	3回以内	植栽地を除く樹木 等の周辺地に全面 土壌散布	3回以内
			雑草生育期	200～ 400g			植栽地を除く樹木 等の周辺地にノニ オン系展着剤を加 えて雑草茎葉散布	

## 使用上の注意事項

- 覆土はできるだけ土を細かく砕いて、必ず3～4 cmの厚さに均一に行ってください。
- 砂質で水はけのよい畑や雨の多い時期にはDCMUが土中深く浸透して作物の根をおかし、薬害を起こすおそれがあるので注意してください。
- 薬液はときどきかきまぜながら、むらのないように散布してください。
- 近くに根の浅い作物がある場合は、散布液が流れて行かないように注意してください。
- 使用后、容器や散布器具は必ず十分水で洗ってください。
- さとうきび、飼料用さとうきびの新植後、分けつが始まる頃に薬剤がかかると薬害が発生することがあるので、さとうきび、飼料用さとうきびにかからないように注意して散布してください。
- 食用苧麻で使用する際には、生育の進んだ雑草には効果が劣ることがあるので、中耕などの機械除草との併用により効果の安定をはかることをおすすめします。
- うこんに使用する場合、以下のことに注意してください。
  - 植付時には土壌を細かく砕いて均一厚めに十分な覆土を行うとともに、植付深度を確保し、浅植えとならないように注意してください。
  - 畦間処理に使用する場合、専用ノズルを使用して作物にかからないようにしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意してください。
  - 激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
  - 散布薬液の飛散、あるいは本剤流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
  - 水源池、養魚池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
  - 散布薬液の飛散によって、自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 蚕に対して影響があるので、桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の散布適期は雑草発生前から生育期（草丈15 cm以下）であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## 安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用はさけてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

## 水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## 保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。